

## 令和5年度 事業報告

### 1 第18回大分県障がい者スポーツ大会開催事業(県委託事業)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い、4年ぶりに通常開催として以下の通り開催
- ・ 当協会が主管する個人競技5競技に延べ914名(実人員573名)が参加  
※第17回(前回):延べ592名(実人員:408名)

#### ①県障がい者スポーツ協会主管競技(5競技)

競技	実施日	会場
卓球(身・知・精)	5月13日(土)	大分県身体障害者福祉センター
ボッチャ(身)	5月14日(日)	大分県身体障害者福祉センター
陸上競技(身・知・精)	5月20日(土)	レゾナックドーム大分
フライングディスク(身・知・精)		レゾナックグラウンド
水泳(身・知・精)	5月21日(日)	大分市営温水プール

#### ②障がい者スポーツ団体主管競技(2競技)

競技	実施日	会場
アーチェリー	4月2日(日)	別府市営実相寺アーチェリー場
ボウリング(身・知・精)	5月27日(土)	タワーボウル植田店

### 2 特別全国障害者スポーツ大会派遣事業(県委託事業)

- ・ 「燃ゆる感動かごしま大会」(令和5年10月28日(土)～30日(月))  
会場:白波スタジアム(鹿児島市) 他
- ・ 大分県選手団66名(選手35名、役員31名)が参加し、金メダル13個、銀メダル9個、銅メダル15個、計37個のメダルを獲得  
※前回大会(とちぎ大会):金メダル10個、銀メダル5個、銅メダル8個、計23個

### 3 第42回大分国際車いすマラソン開催事業(県委託事業)

#### (1)事業概要

- ・ 令和5年11月19日(日)午前10時、大分県庁前をスタート、ジェイリーススクエア(舞鶴球場)前道路上をフィニッシュとする国際陸上競技連盟/日本陸上競技連盟公認コースで実施

## (2) レース概況

- ・ 海外15カ国から45名、国内29都府県から143名、計188名(+オープン参加2名)が出走。うち、マラソン 61名、ハーフマラソン113名、計174名が完走した。
- ・ マラソン男子では、最速クラスのT34/53/54で、マルセル・フグ選手が序盤から圧倒的なスピードで独走し、5連覇、通算11度目の優勝。また、T33/52クラスでは、上与那原寛和選手が4年ぶり4回目の優勝、最も障がいの重いT51クラスでは、ピーター・ドゥ・プレア選手が、危なげない走りで、7連覇を達成。
- ・ マラソン女子では、T34/53/54クラスで、カテリーヌ・デブルナー選手が白熱した先頭争いを制し、初出場での優勝を飾った。

## 4 東パラレガシー障がい者スポーツ推進事業(県委託事業)

- ・ 東京2020パラリンピック競技大会等で盛り上がった障がい者スポーツの機運と関心を踏まえ、本県における障がい者スポーツ活動をさらに推進するため、身近な地域でスポーツを始められる環境づくりに向け、以下の取組を実施した。

### (1) 特別支援学校等と連携する身近なスポーツ環境づくりモデル事業

- ・ 特別支援学校における部活動をベースとし、当該校生徒のみならず近隣校の障がい児やOB等も活動できる身近なスポーツ活動の場づくりを推進した。

令和5年度実績: さくらの杜高等支援学校、大分支援学校、南石垣支援学校

### (2) 総合型地域スポーツクラブにおける障がい者の受入れ拡大支援

- ・ 県内45か所の総合型地域スポーツクラブにおいて、障がいのある方々がスポーツに親しめる環境整備に向け、各クラブのイベント開催支援(体験ブースの設置等)や恒常的なプログラムの企画に係る支援を実施。

令和5年度連携実績: 5クラブ

- ・ Nスポーツクラブ(大分市)
- ・ 虹の翼(佐伯市)
- ・ スポーツクラブ HASAMA(由布市)
- ・ ひまわりのたね・SC ネットワーク大分(日出町)
- ・ わさだ夢クラブ(大分市)

## 5 障がい者スポーツ団体振興事業及び地域活動支援事業(県補助事業)

- ・ 障がい者スポーツ団体の実施する活動に対し、以下のとおり助成を実施

令和5年度助成実績:

- |             |      |   |            |
|-------------|------|---|------------|
| ・ 県大会経費     | 16団体 | ・ | 760,000円   |
| ・ 九州大会等参加経費 | 14団体 | ・ | 540,000円   |
| ・ 地域活動実施経費  | 16団体 | ・ | 1,360,000円 |

- 6 チーム大分・未来のスター発掘プロジェクト事業(日本パラスポーツ協会受託事業)
- ・ スポーツに興味がある障がい当事者が複数の競技を一度に体験し自分に合った活動を見つけられる「チーム大分・未来のスター発掘プロジェクト」を開催(3か所)

実施日・参加者数	会場・実施競技
令和5年12月3日(土) 【参加者数】11名	別府市身体障害者福祉協議会体育館 ボッチャ・卓球・スポーツチャンバラ
令和5年12月10日(土) 【参加者数】12名	竹田市体育センター ボッチャ・卓球・車いすバスケットボール
令和6年1月27日(土) 【参加者数】35名	津久見市民体育館 フライングディスク・卓球・ボッチャ・野球

- 7 公認初級パラスポーツ指導員養成事業(日本パラスポーツ協会受託事業)
- ・ 公益財団法人日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導員(初級)の養成講習会を開催(26名受講)  
日時:令和5年8月27日(日)、9月24日(日)、10月15日(日)  
場所:太陽の家コミュニティセンター 等

- 8 サントリーチャレンジド・スポーツ アスリート奨励金事業(サントリー助成金)
- ・ 地域におけるチャレンジド・スポーツ(パラスポーツ)の普及拡大・環境整備を目的として、チャレンジド・スポーツの未来を担う若手アスリートと各協会・競技団体等に対して奨励金を給付するものについて、以下の2選手に関して手続きを実施。  
第2期(令和6年1月~12月)給付対象選手:
    - ・ 在間裕大選手(車椅子テニス)
    - ・ 立野大河選手(ソーシャルフットボール)

- 9 障がい者スポーツサポーター養成事業(自主事業)
- ・ 車いすマラソンや県障がい者スポーツ大会等障がい者スポーツに関するボランティア活動を行いたい県民を対象に「障がい者スポーツサポーター」養成講習会を開催。
  - ・ 受講者は、第42回大分国際車いすマラソン他各種行事において活動した。  
開催日時:令和5年9月18日(月・祝)  
開催場所:別府野口ふれあいセンター  
受講者数:46名

- 10 大分県障がい者スポーツ協会表彰事業(自主事業)
- ・ 障がい者スポーツの振興を図るため、障がい者スポーツの功労者及び前年度に活躍した団体及び選手を表彰  
令和5年8月2日(水) 表彰式(大分県総合社会福祉会館大ホール)  
1団体・16名を表彰

11 広報事業(自主事業)

- ・ 協会ホームページを開設し、障がい者スポーツ情報を広く発信
- ・ 広報誌「障スポにゅ〜す」を年3回発行(賛助会員募集合む)
  - 令和5年6月 :Vol.51 1,000 部発行
  - 令和5年10月:Vol.52 1,000 部発行
  - 令和6年2月 :Vol.53 1,200 部発行

12 障がい者スポーツ体験会・講演会実施事業(自主事業)

- ・ 障がい当事者を対象とする体験会やアスリート講演会を開催し、障がい者スポーツの普及推進に努めた。(開催実績:29回、延べ参加者数3,828名)

13 理事会・専門委員会の開催

(1)理事会

- ・ 第1回 令和5年5月17日(火)
- ・ 第2回 令和6年3月19日(火)

(2)専門委員会

- ・ 第1回スポーツ大会委員会 令和5年6月6日(火)
- ・ 表彰委員会 令和5年7月7日(金)
- ・ 第2回スポーツ大会委員会 令和6年1月31日(水)